

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

## ②施設・事業所情報

名称：つくし保育園上大岡	種別：認可保育所	
代表者氏名：田川 貞子	定員（利用人数）：70名	
所在地：〒233-0007 神奈川県横浜市港南区大久保1-8-4		
TEL：045-353-3030	ホームページ： <a href="https://www.shuhokai.or.jp/tsukushi/">https://www.shuhokai.or.jp/tsukushi/</a>	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2015年04月01日		
経営法人・設置主体（法人名等）：		
職員数	常勤職員：10名 非常勤職員：8名	
専門職員	（専門職の名称）：名 保育士：18名	
	看護師：1名	
	事務員：1名	
施設・設備 の概要	（居室数）	
	（設備等）	
	乳児室1室	調理室
	保育室2室	事務室
	職員休憩室	
	乳児用トイレ	

## ③理念・基本方針

## &lt;理念&gt;

- ・人間が主体である。
- ・連帯の輪を無限に広げていく。
- ・日に日に新たな今日を創造していく。

## &lt;基本方針&gt;

1. 自分で生きてゆく力を養う（自律）
2. 人と協調して生きる力を養う（社会性）
3. 美しさを感じる感性を育む（センスオブワンダー）

## &lt;保育目標&gt;

1. 心も体も元気な子
2. よく食べよく遊ぶ子
3. 人との関わりを楽しむ子
4. 考えて行動する子

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

〈つくし保育園上大岡の特徴的な取り組み〉

- 当園独自の保育及び保健衛生に関するマニュアル、手順書等を作成し、自己啓発に努めている。
- 安全・安心への取組みとして、災害時の避難場所、経路等、写真を使用することで、より明確で迅速な避難に繋がり、また、日々戸外活動時に確認し共有、理解に努めている。
- 充実した保育に向けて人権や虐待、保育内容等、園内研修で取組み、質の向上に努めている。
- 法人の「安全の日」という設定をもとに、ヒヤリ・ハットや各報告書から抽出、協議を行い、職員周知、共有することで、よりよい保育に繋げるよう努めている。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年06月08日（契約日） ～ 2021年11月25日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2016年度）

#### ⑥総評

【つくし保育園上大岡の概要】

●「つくし保育園」の「つくし」の命名は、「つくしのような強い生命力のある子どもの育成」をねらいとして銘うち、子どもの姿を、真っすぐ空に伸びる強い生命力を持ち、様々な環境の中で逞しく成長する姿と重ね合わせられています。つくし保育園上大岡では、成長の大切な時期である乳・幼児時代の子どもが、様々な体験を仲間と一緒に楽しみ、生きる力の基礎を育む保育を行っています。

●保育理念は、「自律」・「社会性」・「センスオブワンダー」の3つのキーワードで示され、「自律」とは、自分で生きてゆく力を養う、「社会性」は、人と協調して生きる力を養う、「センスオブワンダー」は、美しさを感じる感性を育む、を掲げ、日々の保育に組み込み、実践しています。つくし保育園上大岡では、子どもたちに「つくしの芽」の時代から、3つの理念に沿った豊かな園生活を送ってほしいと願い、保育に当たっています。

●つくし保育園上大岡は、平成27年に社会福祉法人秀峰会の保育事業の認可保育園として開園し、定員70名にて1歳～5歳児までの保育を行っています。独立した3階建ての園舎で、開放的な角地の空間に建ち、園舎前の道路は交通量も多いですが、園玄関までのアプローチを広く設け、安全に配慮しています。園は、京浜急行線・横浜市営地下鉄ブルーライン上大岡駅から徒歩5分程度に位置しています。

◇特に評価の高い点

1. 【「羅針盤」の有効活用】

●法人では、基本的考え方をまとめた「羅針盤」を職員に配付し、常に携帯して困った時、行き詰まった時等、「羅針盤」を見て活路を見出せるようにしています。「羅針盤」は片面に理念・宣言を、もう片面に接遇、利用者の尊重、規律・法令等を記載し、法人の考え方、含蓄のある内容が網羅されています。ある意味、法人の「期待する職員像」でもあり、園では、研修のテーマとして階層別に話し合い、さらに理解を深め、全職員が同じ気持ちで保育に当たっています。

## 2. 【「より良い保育のためにできる事」シートの活用】

●つくし保育園上大岡は、「より良い保育の為にできる事」シートを活用しています。シートは、職員で話し合ったことをまとめたもの（サマリー）であり、項目には、1. 場面設定、2. 改善すべき点・気を付けること、3. 具体的な配慮・声かけ、4. まとめ、で構成されています。さらに、「まとめ」での評価は、「○」を共通理解、「☆」は工夫や声かけ、に分け、分かりやすく、改善点や気づきにもつながるよう形成されています。シートのまとめ方を始め、職員間で話し合うことの大切さ、同じフォーマットに記録として残すこと等、取り組みについて高く評価されます。「話し合う」ことにより、コンセンサスが得られ、「記録に残す」ことで次のステップが見えてくる取り組みは、正に、より良い保育のために、として期待が膨らみます。

### ◇改善を求められる点

#### 1. 【高齢分野を含む他分野との連携】

●法人は高齢分野で高い実績を誇る法人です。法人では高齢分野を含む異業種の施設長会議があると伺いました。現段階では、高齢分野からの教示も多いと思いますが、今後、保育分野も異業種での情報交換を積極的に行い、各分野で硬直した問題の解決につながることを期待できます。引いては、現状の保育における課題解決の気づきを得、工夫・改善へとつながることが期待されます。

#### 2. 【職員の確保】

●職員の確保について、様々に手を尽くし、それぞれの園での課題でもありますが、基本に戻り、実習生の受け入れの促進を図り、近隣の保育士養成校、職員の出身校等へのアプローチと共に実習生の受け入れを進めることが有効に思われます。少しずつ実習生受け入れの実績を積み、職員確保へとつなげていかれることを期待いたします。また、法人本部の人事との関係も含め、実習生受け入れに向けた実習校へのアプローチを検討していかれると良いと思います。

## ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名： つくし保育園上大岡

### <評価（自己評価等）に取り組んだ感想>

園の方針等、十分な理解につながっていると思い込んでいたが、特に、法人の計画は今まで知る機会が少なく、第三者評価を受審するに十分に知ることができた。法人の思いを知り、園運営に生かし、法人との連携を強くしていきたいと思った。

園のマニュアルや手順書は完成したものではないが、見直しをしながら全職員が把握し、日頃の保育に生かせるよう園内研修のあり方の再構につながった。

保護者アンケートによる保護者の思いを十分に汲み取り、少数意見には特に注意をして対応することの大切さを感じた。

保護者対応に対して、職員の温度差があり、今後の見直しにつながった。

<評価後取り組んだ事として>

1. 外部講師や内部での研修の取り組み方を検討し、全職員が知識取得と理解につなげられるよう再考中。
2. 幼・保・小連携事業について、職員間での共有、理解につなげられていなかったの  
で、職員会議や乳児、幼児クラスミーティングを通して理解、周知につながるよう計画。
3. 法人の「羅針盤」を基に、職員育成や職員の将来の姿を描けるような仕組みへの取  
り組みを整備し、職場の風通しをより強化し、職員の安定した職場環境につなげるよう  
にしている。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり